

動物実験に関する検証結果報告書

（山梨大学）

動物実験に関する相互検証プログラム

（国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会）

平成 23 年 12 月

平成 23 年 12 月 28 日

山梨大学学長  
前田 秀一郎 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価結果報告書に対する検証結果を通知します。

国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会  
動物実験に関する相互検証プログラム  
検証委員会 委員長



対象機関：山梨大学  
申請年月日：平成 23 年 8 月 23 日  
訪問調査年月日：平成 23 年 11 月 22 日  
調査員：下田 耕治（慶應義塾大学）  
三浦 竜一（東京大学）

#### 検証の総評

山梨大学は医学部、教育人間科学部、工学部からなる山梨県の中核大学であり、動物実験は医学部キャンパスにある総合分析実験センター動物実験施設の他、数箇所の小規模な飼養保管施設で行われている。文部科学省の基本指針に適合する「山梨大学動物実験規程」のもとに整備された全学的な動物実験専門委員会と動物実験の実施体制により、適正な動物実験が実施されている。持ち回り委員会による動物実験計画書の迅速審査や動物実験結果報告書の高い提出率は高く評価できる。遺伝子組換え実験については動物実験と遺伝子組換え実験の委員会で複数の委員が併任することにより安全確保に努めている。

一方、安全管理に関する規程の一部が未整備な点や、情報公開が十分でない点などが見受けられた。これらの点について速やかな改善を期待する。

## 検証結果

### I. 規程及び体制等の整備状況

#### 1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 「山梨大学動物実験規程」（制定 平成 19 年 2 月 21 日）及び「山梨大学動物実験専門委員会規程」（同）が定められており、その内容は基本指針に適合している。よって、機関内規程の整備状況について、自己点検・評価結果は妥当なものと判断する。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見 特になし。

#### 2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 「動物実験専門委員会規程」が定められ、基本指針にある動物実験委員会の機能を果たしている。動物実験専門委員会は 7 名の委員で構成され、歴代の委員は、基本指針が示す「動物実験等に関して優れた識見を有する者」、「実験動物に関して優れた識見を有する者」、「その他学識経験を有する者」の 3 分類を満たしている。よって、動物実験委員会の整備状況について、自己点検・評価結果は妥当なものと判断する。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。

4) 改善に向けた意見

「動物実験専門委員会規程」の第3条に委員会組織に関して特定の役職（者）を指定しているが、これらの役職者が必ずしも上記3分類に合致するとは限らないので、基本指針が示す3分類を「規程」に明記することを検討されたい。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

「動物実験規程」に基づき、「動物実験に関連する学内規則」、「動物実験施設利用の手引き」及び「飼養マニュアル」が整備され、その中に動物実験計画書申請書や動物実験結果報告書等の書式が定められている。よって、動物実験の実施体制の整備状況について、自己点検・評価結果は妥当なものと判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

4. 安全管理を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

遺伝子組換え実験、放射線等使用実験及び毒劇物を取り扱う実験について「遺伝子組換え実験安全管理規程」「総合分析センター放射線障害予防規程」及び「毒物及び劇物等取扱規程」が定められ、それぞれの安全管理に関する委員会により適正に管理されている。しかしながら、感染動物実験に関しては「感染区域利用マニュアル」が定められているが、委員会が設置されておらず、マニュアルには病原微生物の安全度などの記載が不足し、高度な感染実験室を有する施設としてその内容は

十分とは言えない。よって、安全管理を要する動物実験について、該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある、と判断する。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

4) 改善に向けた意見

国立感染症研究所の病原体等安全管理規程を参考に、病原微生物の安全管理規程を制定することが望まれる。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

主たる飼養保管施設である総合分析実験センター動物実験施設の他、複数の飼養保管施設を有するが、いずれにも実験動物管理者が配置され、「山梨大学動物実験規程」に基づき飼養保管施設や動物実験室の設置承認が行われ、委員による実地確認体制も整っている。よって、実験動物の飼養保管の体制の整備状況について、自己点検・評価結果は妥当なものと判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

意見

特になし。

## II. 実施状況

### 1. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
動物実験専門委員会は年1回の集合形式の会議で全体の方針を審議し、毎月の持ち回り会議で動物実験計画書等を審議している。動物実験計画書は迅速に審議され、その過程は動物実験専門委員原議書及び議事録として適正に記録され、保管されている。よって、動物実験委員会について、自己点検・評価結果は妥当なものと判断する。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
特になし。

### 2. 動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
平成21年度は86件、22年度は89件の新規実験計画を審査・承認している。計画書の有効期間は5年であるため、更新・継続計画書の申請はまだ無いが、毎年の動物実験結果報告書の提出を義務づけている。動物実験結果報告書の提出率は高く、実施状況を適正に把握できている。よって、動物実験の実施状況について、自己点検・評価結果は妥当なものと判断する。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
特になし。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 安全管理を要する動物実験に事故報告はなく、安全かつ適正に動物実験が実施されている。計画数の多い組換え動物等を使用する実験では、動物実験専門委員会と遺伝子組み換え実験安全専門委員会を数名の委員が兼任することにより、安全確保を図っている点は評価できる。よって、安全管理を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価結果は妥当なものと判断する。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 中央施設である総合分析実験センター動物実験施設では各種飼養マニュアルに沿って適正に管理されている。その他の飼養保管施設でも作業手順書に従い管理され、年1回の報告も適正に行われている。よって、実験動物の飼養保管状況について、自己点検・評価結果は妥当なものと判断する。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。



5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

中央施設である総合分析実験センター動物実験施設ではその運営委員会により年度ごとの維持計画が決定されている。各種の表示や逃亡防止措置、設備備品の保守管理、入退室カードやビデオによるセキュリティ管理も適正に実施されている。その他の飼養保管施設でも大きな問題はない。よって、施設等の維持管理の状況について、自己点検・評価結果は妥当なものと判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

年2回の教育訓練を実施し平成22年度は33名が新規に受講している。少数の年度中途に採用され受講できない者が存在するが、これらに対しては個別に指導することにより補完し、次年度早期の受講を義務づけている。また、医学部医学科2年次の専門科目「実験医学」で実験動物福祉に関する講義を行っていることは高く評価できる。機関による自己点検・評価で指摘する、一部に改善すべき点を見出せず、よって、教育訓練の実施状況について、基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている、と判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。



4) 改善に向けた意見

年度途中の採用者等に対応するため、教育訓練の実施回数の増加や e-learning などとも検討されたい。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

総合分析実験センターニュース「プラタナス」及び HP 上で動物実験の実施状況について公表している。「山梨大学動物実験規程」及び各種申請書も HP から閲覧可能であるが、自己点検・評価報告書等は未公開であり、平成 23 年度内の公表を目標として掲げている。よって、自己点検・評価、情報公開について、自己点検・評価結果は妥当なものと判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

自己点検・評価報告書を HP 上で公開するとともに、すでに公開されている各種の情報も集約することを検討されたい。また、自己点検・評価報告書には、より詳細な説明や根拠を記載することが望ましい。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

意見

特になし。